

「みえる ひろがる かすがきた」通信

春日北をかたるかい(会) 困ったことはなか？

Vol.2

2021.12.11実施

まずはアイスブレイク！

この日は「漢字集め」のアイスブレイクでスタート！

お題となる文字を含んだ漢字を書いていくゲームです。今日のお題は“金”。会場のあちこちから「あ～！それもあった！」との声が笑いともに聞こえてきました。氷を解かすという意味をもつアイスブレイク。その名のとおり、短い時間で場が温まりました。

18個出たチームも！

みなさん
いかがですか～？「銀」「鉄」「銅」
それから・・・？

進行：公民館成富主事

団体を超えてつながる 一緒に考える

「春日北、こんなまちになったらいいな」と春日北の未来について語り合い、その後、団体が抱える困りごとや悩みについて話しました。

ワールドカフェ方式でミツバチが花から花へ飛んで花粉を落としていくように、他団体の席にも移動しながら話をしていく参加者の皆さん。それぞれの団体の抱える課題について、一緒に考え「それならここが情報を持っているかも」「自分たちの団体はこうしているよ」とアイデアの花粉を落としながら対話の輪を広げていきました。

各テーブルで新しいタネが実ったのではないのでしょうか。



三夜待をしたい

女性も
参加しやすい

“感じたこと、気づいたこと、
これからやりたいこと”を
「マイハーベスト(収穫)」
として持ち帰ってください



講師：福成 有美さん
(株式会社アテンド)

課題に向き合うときは
Point

- ★それって本当？
を考える
- ★バイアス
(これが当たり前)
をはずす

<出てきた課題や意見の一部>

- ・知り合う機会って大切！「どうしてる？」と声をかけあえる場づくりをしたい
- ・活動を地域の方に伝えたい
- ・コロナ禍で活動ができていないけど次回こそ！
- ・若い方に興味を持ってもらうには？
- ・ママや子どもが集える場を
- ・会員、役員、後継者不足
- ・災害時や日ごろの支援の仕組みづくり
- ・交流の場や機会の創出
- ・活動の見直し
- ・ゴミ問題

などなど・・・



QRコードや
スマホも活用して
情報発信を！

横のつながりができると
情報の共有ができる

対話を大切に・・・

知れば一緒に考えられることがある

今回は団体を超えて、共通の課題も、それ以外も、自分ごととして話し合っていました。団体ごとに考えるより、一緒に考えた方がアイデアや意見が広がり、解決できることが見つかるかもしれません。会場を見渡すと、各テーブルで“会話”ではなく聴くことに重心を置いた“対話”が行われていました。参加された皆さんの協力であたたかな場ができました。まちづくりはチームづくりと似ています。「枠をつくらず、いろんな方と交わって、対話を大切にしながらまちづくりをしていただくと、さらに住民の方の声が聞こえてくるし、協力してくれる人が増えていくと思います」と福成さん。アンケートには「連携」や「人、横のつながり」を大切にしたいとの声を多くいただきました。

参加者の声 (アンケートより)

- * 他団体の課題が見えた。
- 私達の団体の課題も知ってもらえた。
- * 交流を持つことで活動の共有化につながる。
- * 対話することの重要性が印象に残った。
- これを機会に他の団体との交流も深めたい。
- * 色々な意見があって知って良かった。
- * まちづくりに熱心な人が多くて驚いた。
- * グループごとの対話が非常に楽しかった。

人とつながること 参加者の
ハーベストから新しい人を知ること
発見できる 自分
の問題は
みんなの
問題
でもある

地域とつながらんといいかん

